

千葉県次世代育成支援行動計画

—未来をひらく、地域の子育て—



絵：ひだか たくま

平成17年3月

千葉県

ごあいさつ

子どもは社会の希望であり、未来です。子どもの存在が人々にもたらす安らぎや喜びは、いつの時代においても普遍的価値を持っています。地域の人々が潜在的に持っている、人のために何かしたいという気持ちや行動力に支えられ、世代を越えていろいろな人が相互に関わり合うのが、「新たな地域像」です。その実現を通して、次代を担う子どもがたくましく育ち、自立した社会人となっていく社会へ転換していくことこそ、今、求められています。かつてどこでも見られた、あの子どもの笑い声があふれる地域を再生するとともに、安心して子育てできる環境を整備し、子どもたちの可能性を世界に広げていくときです。

このたび、県では、市町村における次世代育成支援対策の推進を支援するとともに、私たちが考える「新たな地域像」による地域の子育てを目指して、その実現のための具体的施策を盛り込んだ「千葉県次世代育成支援行動計画」を策定しました。本計画では、「子どもは地域の宝、すべての子どもと子育て家庭の育ちを地域のみんなで支える」を理念に掲げ、当事者の立場から、「子ども・若者」、「親」、「地域」という3つの斬新な視点で、10年先を見据えたこれからの5年間に実施すべき次世代育成支援のために必要な施策を、分野横断的に示しました。

その中には、従来からの子育て支援施策に加えて、「子どもと若者の権利・社会参画の推進」、「若者の自立・就労支援」、「子育て世帯の経済的負担の軽減」、「仕事と子育てが両立する働き方の実現」、「次世代育成を支える『新しい地域社会づくり』」、「地域での多様な子育て支援・地域の子育て力の充実」等、次世代育成支援対策を幅広く捉え、これまでにはなかった観点からの画期的な施策を盛り込んでいます。

本計画の策定に当たっては、子育て中の親や子育て現場で働いている方をはじめ、さまざまな分野の方々に集まっていただき、計画の内容を検討していただきました。また、各地域の方々が企画運営を行うタウンミーティングやミニタウンミーティングを県内各地で開催し、延べ3千人近くの人たちに計画づくりへ参加していただきました。子どもタウンミーティングも開かれ、子どもや若者の御発言も本計画に

盛り込むことができたことを大変うれしく思っています。

今後は、本計画を絵に描いた餅に終わらせることのないよう、県民及び市町村の皆様と一体となって着実な推進を図り、子どもや若者の健やかな成長と自立を保障し、世代・性別・職業等の違いを越えて共生する「身近な他人による支え合い - 新たな地域像」の中に湧き出る地域力による子育ての実現を目指していきたいと考えています。

おわりに、本計画の策定に当たり、多大なる御尽力をいただいた「次世代育成支援対策を推進する千葉県民会議」、「21世紀健康福祉戦略検討委員会」及び「千葉県次世代育成支援アクションプラン策定作業部会」委員の皆様をはじめ、タウンミーティング等の開催に御協力をいただいた皆様や、御意見、御提案をいただいた皆様に対し厚くお礼申し上げます。今後とも一層の御支援、御協力をお願いし、ごあいさついたします。

平成17年3月

千葉県知事 堂本 暁子